

講座の目的：ビジネス上での分析事例を中心に
実践的なデータ分析（統計分析）の手法を習得する

開 講 日：令和元年（2019年）5月14日（火）

学 習 時 間：1回10分程度×5～6回程度（1週間）×5週

課 題：第1～4週の確認テストと最終課題の実施

講 師：データサイエンスに携わる専門家、大学教授、
総務省統計局職員

対 象：社会人



週	各週のテーマ	内 容
1	データサイエンスとは	データサイエンスが必要とされる背景やデータ分析に基づく問題解決プロセスを紹介
2	分析の概念と事例	記述統計によるデータの把握と比較方法について学習
3	分析の具体的手法	相関関係等の2変数の関係や時系列データの解釈について学習
4	ビジネスにおける予測と分析結果の報告	回帰分析による予測や分析結果の報告と解釈について学習
5	ビジネスでデータサイエンスを実現するために	ビジネスでデータサイエンスを実現するためのポイントについて解説

▶ 講座の流れ



講師による説明動画でデータサイエンスを分かりやすく解説

各週の確認テストにより理解度を確認、最終課題により習熟度を確認

確認テスト及び最終課題の得点率により修了証を取得

▶ これまでに開講したデータサイエンス・オンライン講座

「社会人のためのデータサイエンス入門」

(講座の特徴)
データ分析の基本的な知識を学べる入門編講座

(開 講 時 期)
平成27年(2015年)3月・11月
平成28年(2016年)3月※・12月
平成29年(2017年)5月※
平成30年(2018年)5月、11月※

(学 習 時 間)
1回10分程度×6～9回程度
(1週間)×4週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約68,000人が受講

「社会人のためのデータサイエンス演習」

(講座の特徴)
「社会人のためのデータサイエンス入門」を踏まえ、より実践的な内容へ

(開 講 時 期)
平成28年(2016年)4月・11月※
平成29年(2017年)11月
平成30年(2018年)6月※

(学 習 時 間)
1回10分程度×5～6回程度
(1週間)×5週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約28,000人が受講

「誰でも使える統計オープンデータ」

(講座の特徴)
公的統計の基本的な知識とデータ分析の実践的な手法を学び、統計オープンデータの活用へ

(開 講 時 期)
平成29年(2017年)6月・10月※
平成30年(2018年)12月

(学 習 時 間)
1回10分程度×5～7回程度
(1週間)×4週

(実 績)
社会人を中心に延べ
約15,000人が受講